

2015年8月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

8月	1日	いわき四倉ボランティアお茶会
	3日	MCA無線訓練、小山市生活支援・介護予防体制整備研究会
	4日	栃木県次期プラン策定懇談会、放射性物質と食に関する理解促進セミナー
	5日	平成27年度栃木県・小山市総合防災訓練第3回全体会議
	7日	栃木県暮らし安全安心課との意見交換会・懇親会
	11日	理事会
	20日	食の安全ネットワーク世話人会
	24日	平成27年度栃木県・県央地区災害対応訓練第2回全体会議
	25日	第10回うつのみや食育フェア 第2回説明会
	26日	第10回うつのみや食育フェア出展者説明会
	27日	栃木県とちぎ食育推進連絡会
	29日	ふれあいお茶会、栃木保健医療生協40周年祝賀会
	30日	平成27年度栃木県・小山市総合防災訓練
9月	1日	栃木県生協連憲法学習会・とちぎ消費者カレッジ自治医科大学
	3日	NPO法人消費者市民ネットとうほく視察
	5日	いわき四倉ボランティアお茶会
	7日	暮らし部会
	8日	常務理事会・ふれあいお茶会振り返り
	9日	2015年度都県連災害対策担当者交流会
	10・11日	6県連合同業態研修会群馬県
	15日	消費者ネットワーク幹事会
	17日	食の安全ネットワーク全体会(機能性食品について)
	27日	もったいないフェア宇都宮2015
29日	第2回中央地連運営委員会	
10月	1日	生物多様性を育む農業国際会議実行委員会
	4日	第10回うつのみや食育フェア
	7日	関東甲信越行政生協関係連絡会
	8日	沖縄問題学習会
	12日	消費者カレッジ作新短大
	13日	消費者ネットワーク学習会(奨学金問題)
	15日	栃木県次期プラン策定懇談会
	16日	食の安全ネットワーク世話人会
	20日	理事会
	22日	とちぎ食品安全フォーラム
	25日	平成27年度栃木県・県央地区災害対応訓練
	30日	理事長専務会議

【8月の振り返り】

◇行政関係

・懇談会・審議会への参加

- 3日 小山市支援・介護予防体制整備研究会
- 4日 栃木県次期プラン策定懇談会(竹内会長出席)
- 27日 栃木県とちぎ食育推進連絡会(竹内会長出席)

・その他

- 4日 放射性物質と食に関する理解促進セミナー
- 5日 平成27年度栃木県・小山市総合防災訓練第3回全体会議(大島出席)
- 24日 平成27年度栃木県・県央地区災害対応訓練第2回全体会議(大島出席)
- 25日 うつのみや食育フェア第2回実行委員会
- 26日 うつのみや食育フェア出展者説明会
- 30日 平成27年度栃木県・小山市総合防災訓練

◇県連活動

- 7日 栃木県暮らし安全安心課との意見交換会・懇親会

◇被災地支援

- 29日 ふれあいお茶会

以上

県連活動

1. 機関運営

- 8月11日、2015年度第2回理事会を開催しました。

2. くらし部会

- 8月25日(火)、「第10回うつのみや食育フェア第2回説明会」26日(水)「出展者説明会」が行われました。開催は10月4日(日)、今年度のサブテーマは「楽しく知ろう食のチカラ もっとおいしく もっと健康に!」。生協連では例年通り城址公園に出展します。食料自給率低下やTPP参加を受け、くらし部会の地域3生協を中心に「こまごわやさしい(食べて欲しい食材の頭文字、よつ葉)」「天然だしで減塩(とちぎコープ)」「お米をもっと食べよう(生活クラブ)」など、和食をテーマに、パネル展示とクイズの主題を行います。

3. 行政関係

〈懇談会・審議会への参加〉

- 8月7日(金)、栃木県県民生活部くらし安全安心課と意見交換会を実施しました。県連からは会長理事をはじめ16名が参加。くらし安全安心課からは課長板橋様、室長桜井様、主事佐久間様(後に主幹兼課長補佐松川様)が参加し、以下の様に生協への期待が述べられました。

- ① 消費者団体の中核としての役割…リーダーシップの発揮、情報提供、地域とのつながり
- ② 消費者行政との連携…消費者基本計画(仮)の策定、ネットワーク活動、食の安全安心、災害協定見直し
- ③ 健全な生協運営 など。

県連からは、2014年度の活動報告、2015年度の計画と、8単協(学校生協、生活クラブ、よつ葉生協、保健医療生協、全労済、県職員共済、とちぎコープ)から活動報告を行いました。今後も互いの理解を深めながら、協働の取り組みをすすめていきます。

- 8月3日(月)平成28年度、小山市生活支援・介護予防体制整備にむけた説明会に参加しました。介護事業者、シルバー人材、NPO団体等、56名の参加でした。内容…生活支援体制整備事業を活用した「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」や「協議体」の設置等を通じて、互助を基本とした生活支援等サービスが創出されるようすすめるため、協議体につなげる研究会を立ち上げ、小山市の高齢者の現状把握、共有や、課題や問題点の把握、要支援者に向けた新しいサービスの創出等について検討を行います。
- 8月4日(火)、第4回栃木県次期プラン及び地方創生総合戦略策定懇談会に参加しました。議題は、栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」です。
- 8月27日栃木県とちぎ食育推進連絡会に会長理事が参加しました。

〈その他〉

- 8月30日(日)平成27年度 栃木県・小山市総合防災訓練開催。栃木県、小山市と災害時協定を締結しており、計25名が応援物資供給訓練に参加しました。小雨の降る中、よつ葉生協から9名/車両3台、とちぎコープから11名/車両5台、計20名/8台の参加、その他、栃木保健医療生協の2名がテントで血圧測定を行い、約100名の測定を行いました。
- 8月4日(火)、栃木県主催・放射性物質と食に関する理解促進セミナーに出席しました。当日は8組の親子が参加、とちぎコープからも組合員3組が参加し、講話の他にゲームや実験など、体験を通して放射性物質と食について学びました。

- 8月30日(日)平成27年度 栃木県・小山市総合防災訓練開催。栃木県、小山市と災害時協定を締結しており、計25名が応援物資供給訓練に参加しました。小雨の降る中、よつ葉生協から9名/車両3台、とちぎコープから11名/車両5台、計20名/8台の参加、その他、栃木保健医療生協の2名がテントで血圧測定を行い、約100名の測定を行いました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 8月20日、とちぎ食の安全ネットワーク第3回世話人会を開催しました。7月16日に開催された「続・初めてのHACCP講座」のアンケート集約結果の報告や、この秋に開催されるフォーラムや学習会、①10/22「第14回とちぎ食品安全フォーラム・知ろう、防ごう、食中毒～正しく知って食中毒を防ごう～」、②11/12「食品安全セミナー・輸入食品の安全性について」、③12/3「食品安全セミナー・食品添加物と食品の安全性について」等の計画について話し合われました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 9月1日に自治医大で開催される消費者カレッジや、秋以降の学習会やシンポジウムについて、計画を進めています。

震災支援活動

1. 東日本大震災、福島第一原発事故避難者支援「お茶会」の取組み

- 第46回ふれあいお茶会・最終回 納涼祭

開催日時：2015年8月29日(土) 午後16時～18時 集合14時

開催場所：特別養護老人ホームみどり 地域交流室

参加者：63名 スタッフ19名 合計82名

<内訳…避難者32名(内子供8名)・浪江町長様・浪江長議会議員様3名・浪江町支援課長野様・子育てカレッジみどりの皆さん12名・ふれあいコープの皆さん10名・スタッフ大人19名、スタッフ子供共4名>

2011年9月より、月に一回継続してきた「ふれあいお茶会」は今回で最終回となりました。

栃木県に避難されてきた方々も、帰還されたり、新しく居を構えたりと、それぞれの岐路にきています。開催当初の目的である「①参加者同士をつなげる」「②情報交換の場」として、一定の役割は終えたとの判断から、第46回を持って一区切りとすることにしました。

参加者からは「月に一度の楽しみだった」「また年に一度くらい集まって、近況報告をしたらどうか」などの声もあり、持参されたお菓子やせっけん、手作り品などを渡し合っていました。

納涼祭では3つ目の目的「③楽しいひと時を過ごしていただく」を一番に、以下のような催しを行いました。

- ・ボランティア「ピュアリズム」によるキーナとシンセサイザーの演奏(よつ葉生協理事田中さんメンバー)
- ・吉田代表が作る浪江焼きそば・ポップコーン・輪投げ・ネチャークラフト・かき氷・わたあめ・フランクフルト
- ・おにぎり・飲み物・記念品として吉田代表デザインの「タオル手ぬぐい」を皆さんに配布。

4つ目の目的として「④被災地の現状を知る」については、引き続き活動が必要であることや、高齢の被災者の行く場が限られていることから、今後何ができるのかが課題です。

9月8日(火) 午後2時よりスタッフ振り返りを行います。

● 第 38 回いわき市四倉仮設住宅お茶会

開催日時：2015 年 8 月 1 日（土） 午前 10 時:30～13 時:30(集合 8:00 解散 14:30)

開催場所：いわき市四倉工業団地内 被災者仮設住宅 交流室

参加者：11 名 スタッフ 10 名 合計 21 名

スタッフ感想

- ① 部屋は四畳半一間に台所がついているだけなので、料理をすると熱気で暑くなり、あまり料理もしないとのこと。狭いのでエアコンをつけると寒く、消すと暑い。寝苦しいと言っていた。
- ② 福島は日照り気味。もう 10 日も雨が降っていない。今年はずっとの年より暑いとのこと。
- ③ 庭に水栓がないので、花に水をやる時などは台所から運ばなくてはならず、不便と言っていた。
- ④ 「前回の手芸(ランチョンマット作り)が楽しく、作りすぎて後で具合が悪くなってしまった。6 枚も作ったから」と苦笑された方、親しくしている仮設の方に差し上げたとのことで、今日、その方も一緒に参加して、ありがとうと言ってもらった。
- ⑤ 毎回、手芸では色々なことができるから、楽しみにしている。今日の石鹸も珍しい、孫にあげてもいいわね、とたくさん作られていた。手を使うから、年寄りには丁度いい、と笑っていた。
- ⑥ 参加者の方が同じ掃除機を買ったということが分かり、盛り上がっていた。仮設に来た時にももらった家電類はほとんど壊れてしまい、買い換えが必要とのこと。
- ⑦ みらい学園に取材が来て、有名人の写真を撮ったからと参加者の方が見せてくれた。私たちに見せたかったんだろうなという想いが伝わってきて、そういう間柄になれたことが嬉しかった。
- ⑧ 一か月があっという間、次はいつ来るのかと楽しみにしている、と言っていた。

小名浜海岸付近

以前は家が点在していたが、現在は更地になっている。波が高く、サーフィンをしている人もみえた。護岸工事が大規模に進み、クレーンや大型の工事車両が入り、道も通行止めや回り道が多く通りづらい。堤防は 7～8m、丁度 2 階家くらいの高さになっていて海が見えない。景色が全く変わってしまう。

次回は 9 月 5 日(土)です。

2. その他

みやぎ生協から発信される「3.11 を忘れない 被災地のいま」を県連ホームページで連続掲載しています。8 月 8 日、第 24 回 「あれだけの災害、子ども心に影響がないわけがない」をアップしました。

